地域課題解決学習「日光学」～世界遺産と国立公園が私たちの学び場です～

世界遺産に登録された重厚な歴史と文化を持つ国際観光都市、日光。日本の近代工業化の足跡が今も色濃く残り、環境問題の出発点ともなったまち足尾。国立公園指定の自然溢れる奥日光。これら様々な地域資源に恵まれた日光をフィールドに、日光市が抱える様々な地域課題を題材にした、アクティブラーニング型の探究学習を産学官民の幅広い連携により実施し、課題解決能力の育成と将来の地域社会を担う人材の育成を目指します。

＜１年生日光学（共通プログラムⅠ）＞

１年生の共通プログラムⅠ「日光を知る」では学校周辺の地域資源の魅力を学習します。日光東照宮、憾満が淵、滝尾神社、金谷ホテル歴史館などの歴史と文化、今年度は実現できませんでしたが、戦場ヶ原など日光の自然などについて学びます。

＜１年生日光学　選択プログラム（個別ガイダンス）＞

9月6日（火）、1年生を対象に日光学の選択プログラムの個別ガイダンスを実施しました。選択プログラムでは全部で6つのプログラムの中から1つを選んで学習します。この日は外部講師として、日光市商店連合会、日光市社会福祉協議会、JAかみつが日光営農経済センター、栃木県自然環境課野生鳥獣対策班課、栃木県林業木材産業課の方々にご来校いただき、お話をいただきました。いつもと違う授業に生徒たちは新鮮味を感じ、熱心に話を聞いていました。

＜1年生日光学　選択プログラム（フィールドワーク）＞

9月7日（水）にはフィールドワークを実施しました。「日光のコロッケを極めよう」では、市内コロッケ店4軒をまわり、日光のコロッケの魅力を伝える動画撮影を行いました。「日光と杉」では杉の伐採現場と木材加工工場、そして日光の杉を使った建築現場を見学し杉の魅力と林業が抱える課題になどについて学びました。「まちづくりって何？」では10月に開催された「日光てしごと市」の準備にあたり、10月には実際にスタッフの一員としてイベントに参加しました。「学校給食の献立を考えよう」では日光市立南原小学校の栄養教諭の方にご指導いただき、献立を考えました。1月には実際に南原小学校の給食で出された日に合わせ訪問し、児童たちとの交流を楽しみました。

「日光と杉」　「日光のコロッケを極めよう」「学校給食の献立を考えよう」「日光の鳥獣被害」　「まちづくりって何？」

＜２年生日光学　共通プログラム「日光を知るⅡ」＞

２年生でも引き続き日光の魅力について学ぶ取り組みを継続します。4月のふるさとボランティアの方による学校周辺の史跡散策に始まり、中禅寺湖の「日光市自然博物館やイタリア・イギリス大使館別荘記念公園、田母沢御用邸、近代土木遺産である稲荷川砂防堰堤などを見学しました。また日光市商店連合会の「おやじカードめぐり」を実施し、清滝地区を中心に個人商店へのインタビューを実施しました。

＜日光学特別講座「アイスバックスで日光学」＞

10月27日（木）、1･3年生を対象に日光学の特別授業を実施しました。アイスバックスからは坂田駿選手、ベンガート朗孟選手とマネージャー2名、広報の方など5名が来校し、外部講師として参加していただきました。生徒は「スポーツと地域貢献」「アイスバックス英語教室」「スポーツとビジネス」「デュアルキャリアによる自己実現」の4講座に分かれ、選手やスタッフの交流を通し、プロスポーツチームを身近に感じる貴重な機会となりました。アイスバックスの皆様には、本校アイスホッケー部の生徒が合同練習に参加させていただくなど、日頃の活動でもたくさんのご支援をいただいています。ご協力いただいた日光市とアイスバックスの皆様、ありがとうございました。

＜２年生日光学　選択プログラム（個別ガイダンス、フィールドワーク）

2年生の選択プログラムも６つあります。「高齢者が生きがいをもって長生きするために」「まちで手話を活用しよう」「私たちが考える生物多様性」「選挙制度」「持続可能な日光であり続けるのために私たちができること」の６つです。5～6月にかけて日光市職員（高齢福祉課、社会福祉課・環境生活課・日光市選挙管理委員会・総合政策課・地域振興課）による全体ガイダンスと各プログラムに分かれての個別ガイダンスを、そして8月にはフィールドワークを実施しました。「私たちが考える生物多様性」のプログラムでは、フィールドワーク以外でも、オオハンゴンソウ等外来植物除草作戦や湯の湖清掃活動など、様々な活動に取り組みました。

＜２・３年生日光学「共通プログラムⅢ（二宮尊徳）」「共通プログラムⅣ（足尾銅山）」

2年生では郷土の偉人、二宮尊徳について学びます。二宮尊徳は日本の資本主義の父といわれる渋沢栄一に大きな影響を与えた人物の一人です。二宮堀を題材に尊徳の日光での足跡をたどり、二宮尊徳記念館を訪問しました。また、日光市教育委員会文化財課とNPO法人足尾まるごと井戸端会議の方に依頼し、足尾銅山について学びました。足尾銅山鉱毒事件の教訓を後世に伝えようと活動してきた市民団体が、昨年次々に解散しました。足尾銅山の教訓を若い世代に伝える取り組みが、今まで以上に求められています。３年生では、3年間SDGｓをテーマに取り組んできた日光学の総まとめとして、ＮＰＯ法人足尾の緑を育てる会のご指導で足尾環境学習センターで足尾の歴史や鉱毒事件の被害について学んだあと、松木渓谷植樹活動を行いました。

＜３年生日光学「ブラタモリ清滝を制作しよう」「貧困をなくそう」とぐるめ部の活動について

4月、2年次の選択プログラム「貧困をなくそう」を選択した生徒たちが、子育て支援や生活に苦しむ家庭を支援する活動をしているNPO法人だいじょうぶ様に、全校生徒や地域の方々から集めた食料品や日用品を届ける活動を行いました。活動をとおして、コロナ禍や物価高で、生活に苦しむ家庭が増えている現状を知り、生徒たちが全校生徒や地元４自治会、市役所にに協力を呼びかけ、多くの物品を集めることができました。また、3年生が2年生だった時の選択プログラムの一つ「日光の誇りを高めるには」の続編として、3年生の有志生徒が学校周辺の清滝地区の魅力を調べる活動を行いました。栃木県立博物館で学芸員の先生に清滝周辺の地形について教えていただいたのを皮切りに、「水」をキーワードに現場に足を運び、取材活動を続けてきました。また、日光市商店連合会、日光商工会議所、JTB総合研究所の支援を得て、日光のおいしい魅力を紹介するぐるめ部の活動も新たに始まりました。早速、５つの飲食店の取材を行い、今年度中にパンフレットにまとめ、日光の食の魅力を外部に発信していきます。

日光明峰高校×三菱みらい育成財団　「心のエンジンを駆動させるプログラム」

今年度、日光明峰高校が三菱みらい育成財団の助成対象（3年間で300万円）に選ばれました。高校生対象のカテゴリー１では全国48校が選ばれましたが、令和4年度に新たに対象になったのは栃木県では本校だけです。さらに栃木県教育委員会の「未来を創る高校生 地域連携・協働推進事業」の助成対象にも選ばれました（3年間で500万円）。３年間で800万円の助成金を活用して、「日光学」はさらに進化をしていきます。これからの日光学にどうぞご期待ください。

一般財団法人 三菱みらい育成財団